

沢城跡 発掘調査現地説明会資料

市内飯野寺家町にある沢城跡で室町～戦国時代の城跡の発掘調査を行いました。

沢城とは

14世紀中ごろに、関氏一党である神戸盛澄によってつくられました。
それから、16世紀中ごろに神戸具盛が神戸城に移るまでの約200年間、
神戸氏の居城として存在しました。

発掘調査でわかったこと

築城する過程が判明しました。

築城の際に黒色と黄色の土を交互に積み重ねて盛り土を行っています。

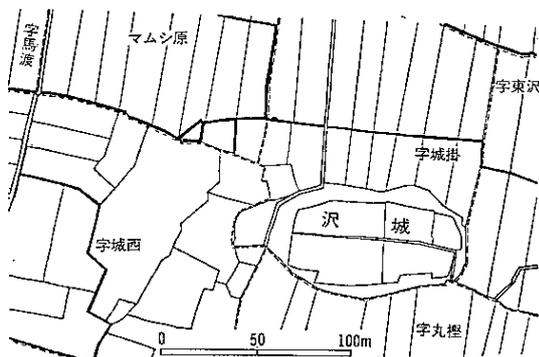
15世紀ごろ大規模な建て替えが行われたようです。

柱穴跡が確認された上にもう1層整地された部分が発見され、
そこから多くの土師器の皿が出土しています。

土師器や陶器が出土しました。

直径9～12cmの土師器皿が数多く出土しています。

陶器には愛知県の瀬戸窯や常滑窯で焼かれた甕や鉢、碗などがあります。



沢城跡
(明治20年第五大区一ノ小区, 伊勢国)
(河曲郡寺家村, 同西条村地籍図)

明治20年の地籍図



沢城の築城際の範囲を示す盛土

沢城・神戸城に関する年表

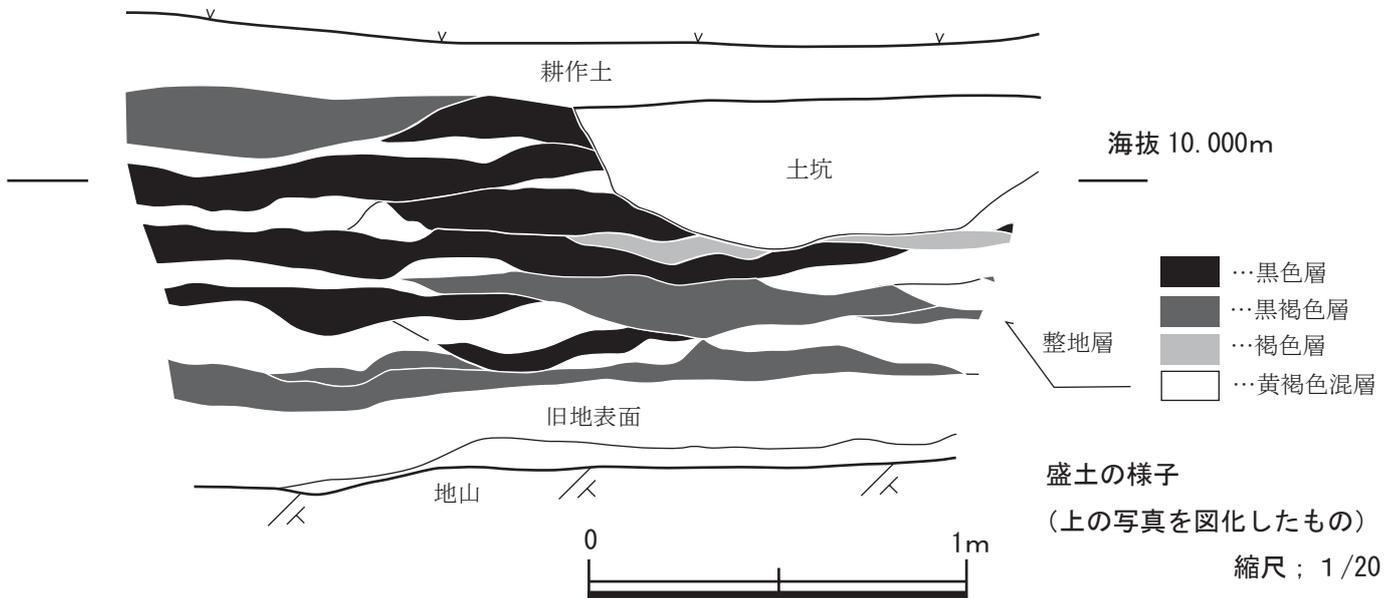
時代	室町時代	戦国時代					織豊時代	江戸						
城主	盛澄 実重		神 戸 氏 為盛 具盛		長 盛 利盛		友盛 信孝	水野忠重 生駒親正 小島兵部	柳直盛 (5万石)		石川氏 (2万石) ① 総長 ② アサヒ 総長 ③ アサヒ 総長		アサヒ 総長 シラタ 茂	① アサヒ 忠
主なきこと	67 開氏五家に分割 神戸氏沢城に拠る 20 竜光寺建立		67 応仁の乱起る		36 采女城主後藤藤正、江州にて討死 51 神戸城築城 神戶・関家不和		59 堀浜の戦工藤氏を破る 67 信長軍侵略、翌年信孝神戸家の養子となる 75 神戸十日市に伝馬の制	82 本能寺の変 80 神戸城五重天守閣成る	00 関ヶ原の戦	03 家康征夷大將軍となる	34 紀州藩白子郡奉行所(のち代官所)	鎮 国	22 下野有馬氏、林崎に代官所をおく 享保の改革	元禄時代

歴代神戸城主年表

『興亡の歴史を秘める 神戸城跡』
鈴鹿市教育委員会 より引用



盛土の様子
(黒色と黄色の土を交互に積み上げています)





沢城の生活面

(きれいな黄色の土で表面を化粧し、その上から柱穴が掘りこまれています。)



土師器皿の出土状況

(皿がぎっしり詰まっています。)